

真田山周辺生き物調査報告書 コース No.14(B)

報告者:北川ちえこ

日時:2014年7月27日(日)10:00~12:30 晴れ

調査者:岡本久子、北川ちえこ、塩路和子、白石卓也、中谷憲一、中谷ちゆき、長谷川喜代子、堀田サダ(8名)、一般参加者(8名) 事務局:谷口誓男

コース:真田山周辺 マップ No.1

今年はパートナーシップクラブの人以外にもエコボランティアや一般参加の人が加わり、セミの脱け殻採集には期待していたのですが、肝心の脱け殻がとても少ないと思いました。草本も例年より種類が少なかったです。調査とは関係ありませんが、例年休息する場所にある自販機はオール100円で重宝しています。今年は消費税が上がり当然値段は上がっていると思っていましたが、値段はそのまま、なんと50円、70円のコーナーがありビックリしました。調査では、いつも自然の出来事に驚かされますが、こんな話のネタになるような場面にも出会えるのも楽しみです。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※樹木は花や果実のあるもの、又は特筆すべき種のみ記録しました。

メッシュ No.の後の()内は旧みどり生き物会議で使用したメッシュ番号です。

メッシュ No.523504023(465)

JR 玉造駅~宰相山西公園

イネ科…メヒシバ 2

動物…スズメ 4

宰相山西公園(10:20~10:40 セミ脱け殻採集)

アカネ科…ヤエムグラ 1

アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3

イグサ科…クサイ 3

イチヨウ科…イチヨウ 1(植)

イネ科…オヒシバ 2、カゼクサ 2、メヒシバ 2

オオバコ科…オオバコ 3

オシロイバナ科…オシロイバナ 2

カキノキ科…カキノキ 3

カタバミ科…オッタチカタバミ 1

カヤツリグサ科…コゴメガヤツリ 2

キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 1、オニタビラコ 2、セイヨウタンポポ 2、タチチチコグサ 3、ノゲシ 2、ヨモギ 1

クマツヅラ科…ランタナ 2(逸出?)

スベリヒユ科…スベリヒユ 2

ツユクサ科…ムラサキツユクサ 2(植)

トウダイグサ科…コニシキソウ 3、コミカンソウ 1

ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1

マメ科…シロツメクサ 2

マンネンタケ科…オオミノコフキタケ 2(子実体)

動物…アブラゼミ 0 脱け殻、アオスジコハナバチ 4、アカホシテントウ 4、イトカメムシ 4、クマゼミ 4,0 脱け殻、鳴き声、クロヒラタヨコバイ 4、クロヤマアリ 4、セグロアシナガバチ 4、トビイロケアリ 4、ツマグロヒョウモン 4、



JR 玉造駅で集合
140727 撮影 北川ちえこ



調査風景 宰相山西公園
140727 撮影 北川ちえこ

モンシロチョウ 4、ヤマトシジミ 4、

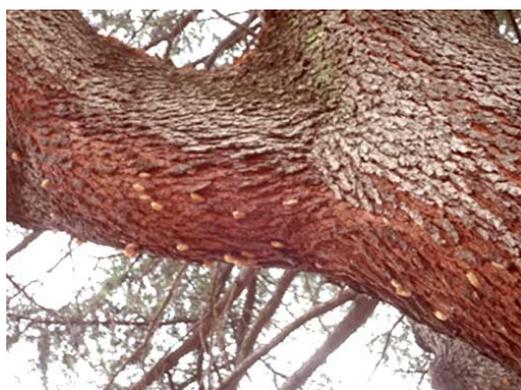
旧真田山軍人墓地(10:45~11:05 セミ脱け殻採集)

アオイ科…ムクゲ 2(植)
アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
イネ科…アオカモジグサ 1(立ち枯れ)
カタバミ科…オッタチカタバミ 1
キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 1、タチチチコグサ 2、ヒメムカシヨモギ 3、ヨモギ 1
クルミ科…シナサワグルミ 3(植)
センダン科…センダン 4
バラ科…ウメ 3(植)
ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1
マメ科…シロツメクサ 2
ミカン科…ミカン sp3(植)
メギ科…ナンテン 3(シナサワグルミ樹林にあった実生)
動物…ハシブトガラス 0 声、クマゼミ 4、クロヤマアリ 4、シヨウリョウバツタ 4、シラホシハナムグリ 4、トビイロケアリ 4、ヒメスズメバチ 4、マツカレハ 0 羽化後の繭



セミの抜け穴: 調査風景の辺りですが、例年は脱け殻が落ちて溜まっているところです。掃除の後だったのででしょうか抜け穴だけが目立ちます。

140727 撮影 北川ちえこ



脱け殻は、木の高いところにはまだ残っていました。140727 撮影 北川ちえこ



調査風景 旧真田山軍人墓地

140727 撮影 北川ちえこ

宰相山公園(11:15~11:35 セミ脱け殻採集)

アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3
イグサ科…クサイ 3
イチョウ科…イチョウ 3
イネ科…エノコログサ 2、カモジグサ 2、ニワホコリ 2
オオバコ科…オオバコ 3
カタバミ科…オッタチカタバミ 1
キク科…ウラジロチチコグサ 2、セイタカアワダチソウ 1、セイヨウタンポポ 2、タチチチコグサ 3、ノゲシ 1
シソ科…ローズマリー 2(植)
トベラ科…トベラ 3(植)
ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1
マメ科…シロツメクサ 1
動物…スズメ 4、ハシブトガラス 0 声、アブラゼミ 0 翅、アゲハチョウ 4、クマゼミ 4、ハリブトシリアゲアリ 4、ヤマトシジミ 4



調査風景 宰相山公園

140727 撮影 北川ちえこ



塩路さんが拾った
アブラゼミのはねと
イチヨウの実

140727 撮影 北川ちえこ



イチヨウの親木の下には、埋め尽くすように
実生がでていました。

140727 撮影 北川ちえこ

各自集めた脱け殻は、大きな袋へ入れ替え、一
つにまとめます。 140727 撮影 北川ちえこ

※宰相山公園東歩道 11:35～1150…水分補給のため休息

メッシュ No.523504021 (494)

真田山野球場東側歩道

キク科…セイヨウタンポポ 2

真田山公園 (12:00～12:20 セミ脱け殻採集)

イネ科…オヒシバ 2

キク科…アレチノギク 2

バラ科…ウメ 3(植)

ミソハギ科…サルスベリ 2(植)

動物…ハリブトシリアゲアリ 4、マツカレハ 0 羽化後の繭(ケヤキ、アメリカフウに)、ヨコバイの一種 4



ケヤキのひこばえにも付いていまし
たが、調査域ではなく残念!

140727 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.523504012 (493)

真田山公園

アカネ科…ヘクソカズラ 2

カタバミ科…オッタチカタバミ 1

キク科…ウラジロチチヨグサ 2、セイヨウ
タンポポ 2、ヨモギ 1

スイカズラ科…サンゴジュ 3(植)

トベラ科…トベラ 3(植)

バラ科…シャリンバイ 3(植)

ヒユ科…ホナガイヌビユ? 1

マメ科…シロツメクサ 2

動物…スズメ 4、ドバト 4、ハリブトシリア
ゲアリ 4、タマカタカイガラムシ 4、ワモ
ンノメイガ 4



マツカレハ羽化後の繭 140727 撮影 北川ちえこ



調査風景 真田山公園
140727 撮影 北川ちえこ



最後に、中谷さんに脱け殻の違いを
レクチャーしていただきました
140727 撮影 北川ちえこ



脱け殻をまとめています。
140727 撮影 北川ちえこ



一般参加の方は最後に感想などのアン
ケートを書いてもらいます。
140727 撮影 北川ちえこ

コメント

真田山セミの抜け殻調査 塩路和子

今朝は長居公園のセミの叫びのボリュームが少し下がっているように感じました。セミの羽化は昨日が頂点だったのかなあと思いつつ出かけました。雨が降るかもしれないという天気予報です。真田山のセミ調査は長年続いています。雨にあつた記憶はありません。これまでJR環状線で玉造へ行っていましたが、初めて地下鉄鶴見緑地線で行きました。地下鉄から JR までに不動産屋が多いのに驚き。居住者の移動が多いのでしょうか。

セミの抜け殻調査は例年通り宰相山西公園から始めます。1ヵ所 20分、これも例年通りです。しかしセミの方は例年とはちょっと様子が異なります。抜け殻が二段、三段と重なっていたり、樹の幹にセミがぎっしり止まっていたりといった風景は見られませんでした。アブラゼミの翅が1枚落ちていました。アブラゼミも細々と生息している証です。

旧軍人墓地は近ごろきれいに整備されましたが、今年はずっと荒れている感じ。納骨堂で身内の遺骨が見つかり、ホットな話が出ました。この地は自然も豊かです、大切に守りたいところです。

宰相山公園は樹木やハランまでも刈り込まれ、いつも大量の抜け殻があるところが、探してやっと見つかるといった感じ。7年ほど先のセミの数が心配になります。ハランはかなり枯れていました。

三光神社下の道路で休憩、水分補給タイムです。そこから真田山運動場東側歩道を通り真田山公園の調査です。運動場では暑さの中で子供たちが野球をしています。「熱中症に気をつけてや」と心の中で叫んでいました。ここでは大きな樹に集中的に抜け殻が付いていました。中にはケヤキの根元の短いひこ生えに、7、8個の抜け殻が鈴なりにになっている所がありました。低い位置、高い所、セミにもそれぞれ好みがあるようです。

こんな作業が初めての方もお出でになっていて、楽しい一日でした。終了間近になって小雨が降りだしました。抜け殻はあだーじょさんが持ち帰っていただきました。エコ緑日に来場者の方に仕分けのサプライズが決まっています。